

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	転移性骨腫瘍：単回照射と分割照射における有用性と有害事象の比較
当院の研究責任者 (所属)	田中 修（放射線治療科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	転移性骨腫瘍で緩和的放射線治療を行われた患者さんの診療記録を基に、今後のよりよい治療を検討することを目的としています。
調査データ該当期間	2021年1月から2024年12月まで
研究の方法（使用する資料等）	当院で治療を行った患者さんの診療記録から以下の項目を使用させていただきます。 年齢、性別、現病歴、転帰、痛みの評価スケール、鎮痛薬使用歴
試料/情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取扱い	情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。
本研究の資金源（利益相反）	利益相反なし
お問い合わせ先	朝日大学病院 放射線治療科 准教授 田中 修 TEL：058-253-8001
備考	